

伊藤忠商事は、産業構造の変化に柔軟に適應しながら、世界に類を見ない「総合商社」としての企業形態を形作ってきました。幅広い事業領域やグローバルな事業展開、トレード・投資・事業経営・金融・物流・リスクマネジメントといった特徴・機能を一つの企業体で有する「総合力」を駆使し、新たな競争環境を勝ち抜いていきます。

サハリン1ヤストレブ掘削リグ(ロシア)

杉杉集团有限公司との
中国国内ブランド事業展開(中国)アゼリ油田中央部海上プラットフォーム
(アゼルバイジャン)頂新グループ
(中国・台湾)マウントニューマンJV鉄鉱山
(オーストラリア)海水淡水化PPP事業
(オーストラリア)

See page 20

Global Reach

ーグローバルに広がるネットワーク

世界80ヶ国に136拠点を展開する伊藤忠商事の事業フィールドはまさに「世界」です。ボーダレスな大競争時代に突入するなか、世界中に張り巡らされたネットワークと情報収集・分析力を武器に、新たな地平を次々と切り拓いていきます。現在では、真の世界企業の実現を通じ、海外事業損益の更なる拡大を目指しています。

| | |
|--------|-----|
| 国内拠点 | 15 |
| 海外拠点 | 136 |
| 海外現地法人 | 73 |

2010年3月31日現在

西海岸穀物輸出エレベーター (EGT)
(米国)



PrimeSource社製品 (米国)



SolarNet社施工の
太陽光発電導入例 (米国)



See page 28

セニブラ社全景 (ブラジル)



NAMISA社鉄鉱山 (ブラジル)



See page 24

Newlands炭鉱
(オーストラリア)



Wide-Ranging of Business Fields

—幅広い事業領域

7つのディビジョンカンパニーと総本社営業部が極めて幅広い産業と関わりをもつて事業活動を行っています。事業領域に制限はありません。商機あるところが事業領域です。現在も太陽光ビジネスや、ライフケアビジネス等、新たな成長領域での挑戦を行っています。生活消費関連分野、資源・エネルギー関連分野、その他の分野にバランスのとれた事業ポートフォリオも特徴の一つです。

- 繊維カンパニー
- 機械カンパニー
- 情報通信・航空電子カンパニー
- 金属・エネルギーカンパニー
- 生活資材・化学品カンパニー
- 食料カンパニー
- 金融・不動産・保険・物流カンパニー

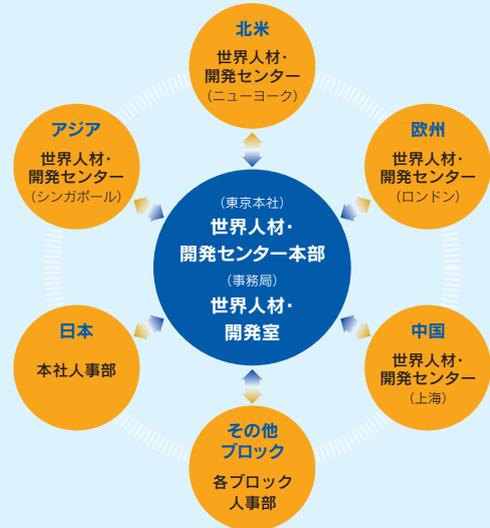
Human Resources

—「人」が競争優位

「総合商社」伊藤忠商事にとって「人」は最大の経営資源です。一人ひとりが強い情熱とチャレンジ精神で、当社の競争力を支えています。現在、当社は国籍・人種・性別・年齢を問わず多様な人材が最大限能力を発揮できる企業風土の確立を目指す「世界人材戦略」を推進しています。世界4都市のGTEC*が中心となり、伊藤忠商事の将来を担う「世界人材」の採用と育成を進めています。

*GTEC：Global Talent Enhancement Center (世界人材・開発センター)

世界人材戦略推進体制図



Risk Management

—高度化を続けるリスクマネジメント

トレード中心から投資を含む複合的な事業形態へと発展する過程で大型化・多様化したリスクに対応するため、リスクマネジメントを高度化していきました。RCM*は、将来起こりえる最大損失額を統計的に算出した「リスクアセット」と、そこから得られるリターンの率RRI*を用いて、全社のポートフォリオマネジ

メントを行うものです。現在では、あらゆるリスクを統合的・包括的にコントロールするERM*へとリスクマネジメントの更なる深化を進めています。

*RCM: Risk Capital Management

*RRI: Risk Return Index

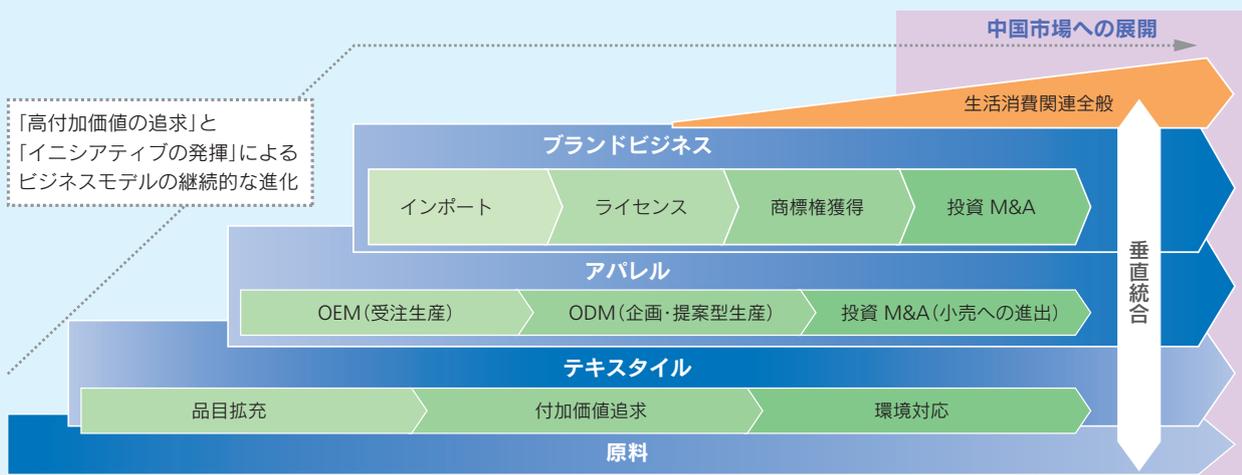
*ERM: Enterprise Risk Management

Foresight and Flexibility

—先見性と機動性

当社は変化の兆しを敏感に察知し、変化に先回りして常に新たなビジネスモデルを創造してきました。例えば、当社の繊維ビジネスはビジネスモデルを柔軟に進化させながら業容を拡大してきました。国内マーケットの川下へのシフトには、リーテイ

ル分野の強化で先手を打ち、ブランドビジネスでは、海外有名ブランドの輸入販売権獲得から、商権の長期安定化を目的に商標権の買収や企業への直接投資へと戦略を発展させ、業界最強の地位を獲得しています。



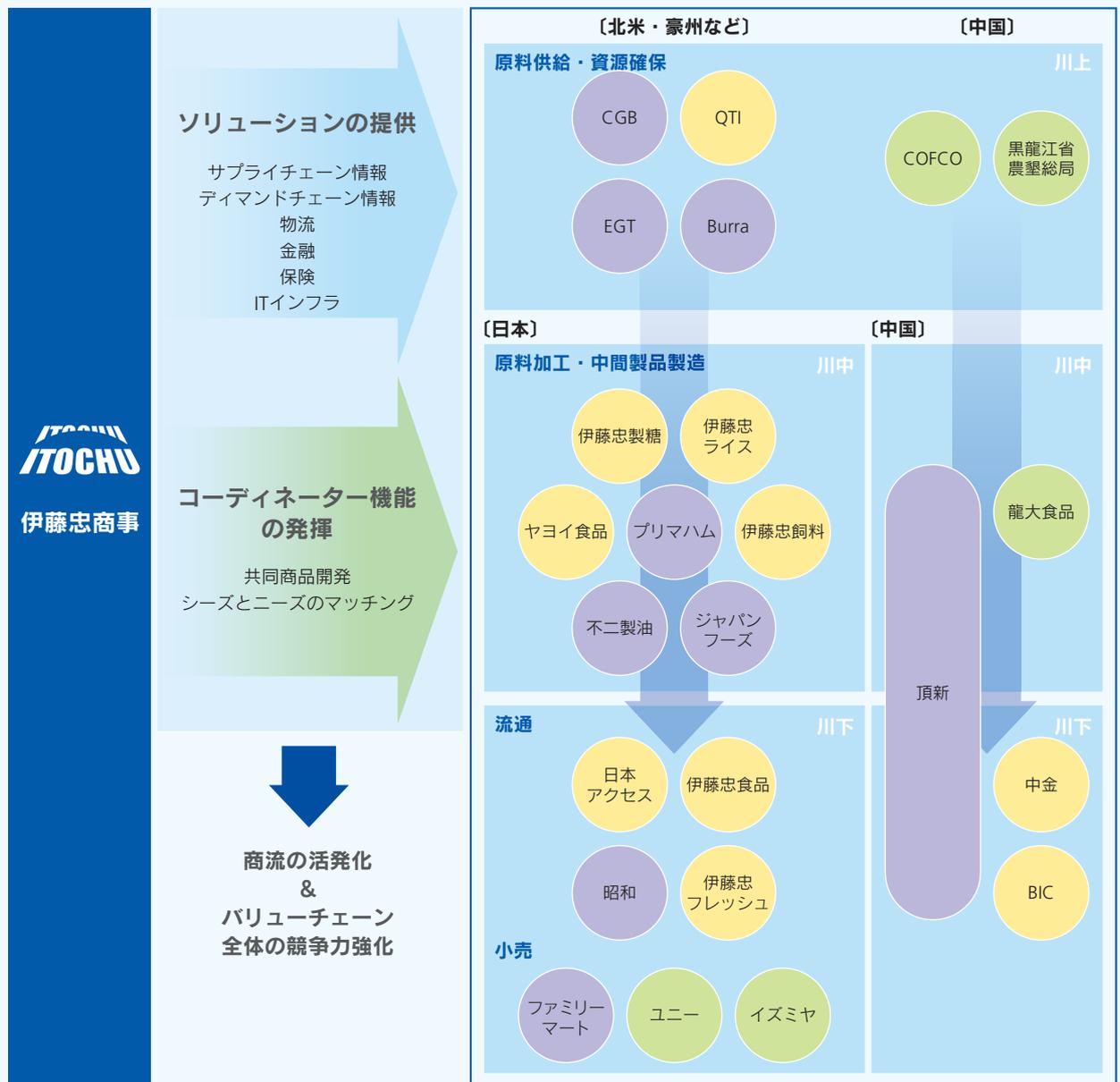
Value Chain

—商流全体を見渡したコーディネーター機能の発揮

「総合商社」である当社は、ある商品について、原料供給から製造・加工工程を経て最終商品となり消費者に販売されるまでの商取引の過程（商流）の中で、世界中のネットワークを活かした情報提供や物流・金融・保険、ITインフラといったソリューションを複合的・一体的に提供することでトレードに参画します。また、商取引を通じて関係を構築した企業や重要なパートナー企業に出資・経営参画することで、より強固なバリューチェーンを形成し、商流全体を見渡した商品開発やシーズとニーズの

マッチング等のコーディネーター機能を発揮します。こうした取組を通じて、商流全体の活発化に貢献するとともにバリューチェーン全体の付加価値を向上させ競争力強化を図ります。その結果として、当社はトレード収入の拡大や、出資先からの配当・事業収入の増加という形で付加価値に見合った対価を得ることになります。当社は、こうしたトレードとバリューチェーンを組合せた価値向上の仕組みを国内外の様々な分野に拡げています。

食料関連分野の例



- 子会社または孫会社
- 持分法適用会社
- 一般投資先または業務提携先